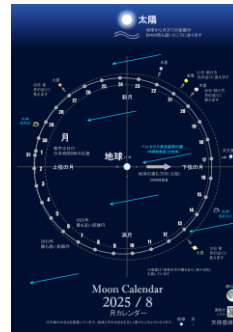


ペルセウス座流星群の塵の重カキ3D模型

天体感測室 作

地球を回る月を楽しむ月カレンダーに置く
「ペルセウス座流星群の塵」の重カキ3D模型です。

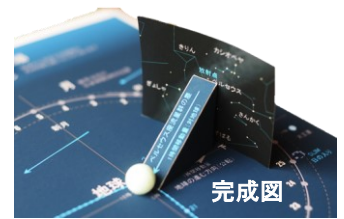


月カレンダー
はこちら



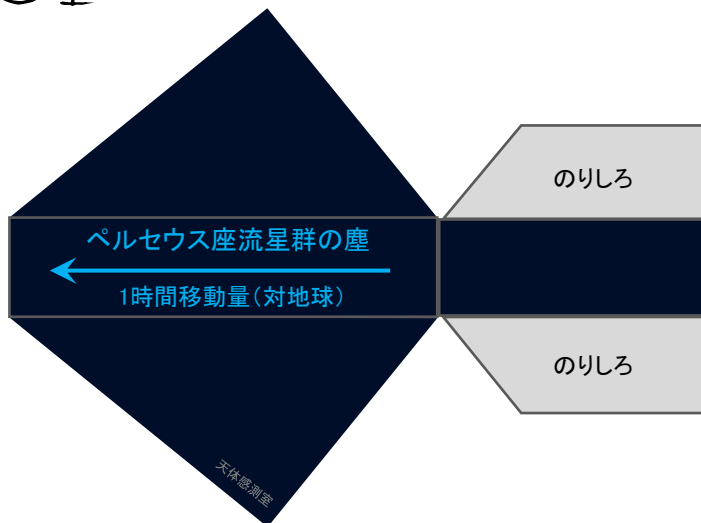
平面では表せない重カキを立体的に表現します。

この画像を厚めの紙にEP刷りするか、普通紙EP刷り後
パーツ部分を厚めの紙に貼貼り付けてご利用ください。
＊月カレンダーは8月をお使いください



月カレンダー8月

①塵の重カキパーツ



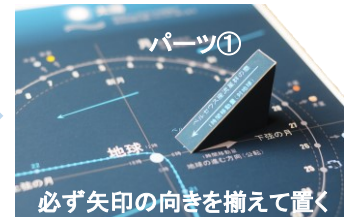
②放射点方向の星空パーツ



①②の輪廓をカットして切り出します。線はすべて山折りです。のりしろで接着し組み立てます。

使い方

★パーツ①を月カレンダーの「ペルセウス座流星群の塵」
の矢印の方向に合わせて、立てて置きます。
塵が斜め上から飛んでくるのが分かります。また旧時月での
移動距離が長く、すごい速さで地球に当たる
こともわかります。



＊パーツ①はどこに置いて構いません。ただし必ず矢印の向きを合わせてください。地球に当たらないで飛んでいく塵
や、月に当たる塵を想像しても良いでしょう。（月では大気がほとんどないため流れ星として見えないまぶつかります）

★次に、パーツ①を地球に落ちる矢印のところに置きます。そしてパーツ②
をパーツ①の背景に立てます。ちょうど放射点がスロープの真ん中になるよ
うにします。

地球から見たときの背景の星空を表しています。塵がペルセウス座の方
向からやってくるように見えます。そのためペルセウス座流星群と呼ばれます。
なお、地球が進んでいる方向はこの時期月、すばるの近くになります。

＊パーツ②は手で持っても立てかけても、接着しても構いません



はるか宇宙を飛んでやってくる塵たちを想像して、ペルセウス座流星群を見てください